

V 社会人選抜

1 社会人選抜制度の趣旨

今日、成人教育や生涯教育に対する社会的要請が強くなっている。しかし、現実には、高校卒業後相当の年数を経過している社会人にとって、あらためて大学教育の修学を意図しても、一般選抜のような入試制度は極めて重荷である。

このような現状に対応して、本学商経学科では、社会人選抜制度を採用している。これは、一般選抜とは別の選考方法によって社会人に大学の門戸を開き高等教育の機会を与えるものである。学習意欲の旺盛な社会人の入学を期待する。

2 選考方法

小論文、書類選考（知人、若しくは家族など本人を含む適切な人の推薦書・本人の志望理由書・履歴書）、面接の結果並びに志願者の持つ技能及び資格を資料として総合判定の上、一般選抜学力検査を免除して合格者を決定する。

3 社会人選抜を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	専 攻 名	募集人員	修業年限
第 一 部 (昼間課程)	商 経 学 科	経 済 専 攻	若干名	2 年
		経 営 情 報 専 攻	若干名	
第 二 部 (夜間課程)	商 経 学 科		若干名	3 年

4 対 象 者

次のいずれにも該当する者

(1) 人物が優秀で、更に高度の学業を修得しようとする熱意と能力を有し、学業、仕事、社会的活動、スポーツ、家事等においてなんらかの推薦事由のある者

(2) アからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和7年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある(48ページを参照)。

高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

(3) 令和7年4月1日現在で**年齢22歳以上**である者

(4) 合格した場合、入学することを確約できる者

5 出願期間

令和6年11月11日（月）～11月15日（金） 〈郵送の場合は11月15日（金）消印有効〉

- ・受付時間は9時から16時まで。
- ・受験票が未着の場合は、選考日の前日までに、本学教務課へ問い合わせること。

6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	Ⅸ 共通事項「1 出願手続」 （41ページ）を参照の上、インターネット出願で作成したPDFデータを印刷して出願すること。インターネットを利用できない場合は、 Ⅸ 共通事項「(4) 手書き用の入学志願票等を使用した出願について」 （43ページ）を参照し、手書き用の様式を使用して出願すること。 出願前6か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm，横3cm）を受験票及び入学志願者写真票の所定の欄に貼付すること。 なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影すること。
②	受験票	
③	入学志願者写真票	
④	推薦書	勤務先の知人，若しくは家族など本人を含む適切な人物による。 〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)にWordファイル掲載〉
⑤	履歴書	市販のものを使用し，高等学校以後の学歴，職歴等を詳細に記入すること。
⑥	志望理由書	〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)にWordファイル掲載〉
⑦	卒業証明書等	高等学校卒業証明書，又は卒業見込証明書（旧制高等専門学校1年修了の者，又は旧制中等学校卒業者はその事実を証明するもの。高等学校卒業程度認定試験合格者は合格成績証明書を，また同試験合格見込みの者は，「合格見込成績証明書」をもって代えることができる。（合格証明書は不可）。廃校又は被災等によって得られない場合には，これに代わる書類を提出しても差し支えない。
⑧	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は， Ⅸ 共通事項「2 入学検定料」 （44ページ）に記載。

7 出願手続

志願者は，出願書類等を取りまとめ，出願期間内に，本学教務課へ提出すること。

- (1) 直接，持参して提出する場合は，受理の際，受験票を交付する。
- (2) 郵送の場合は，出願書類等を取りそろえ，「出願封筒おもて紙」を貼付した封筒（角形2号24.0cm×33.2cm）に入れ，必ず書留速達郵便で発送すること。

また，受験票返送用として，氏名，住所，郵便番号を記入し，110円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

8 選 考

- (1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、可否を決定する。

項 目	内 容
選 考 試 験	小論文
面 接	個人面接
書 類 選 考	推薦書・志望理由書・履歴書
そ の 他	志願者の持つ技能及び資格

- (2) 選考日 令和6年12月6日（金）

- (3) 選考時間割

試験室入室時刻	9:50	—
面接控室集合時刻	—	12:20
試 験 時 間	10:00～11:30	12:30～
科 目	小論文	面 接

(注) 試験場を確認する場合は、選考日前日の13時から16時までの間に来学して確認すること。

9 合格通知及び発表

- (1) 選考結果の可否については、令和6年12月16日（月）10時に本学掲示板、その後12時までに鹿児島県公式ホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。
- (2) 合格者は、**入学確約書**（用紙は可否通知に同封する。）を令和6年12月26日（木）までに、本学教務課に提出しなければならない。

郵送の場合も期日までに**必着**するように**書留郵便**で出すこと。期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。

(注) 電話や電子メールによる可否の問い合わせには応じない。

鹿児島県公式ホームページで確認する場合は、

このページの二次元バーコードからアクセスする、もしくは

検索サイトにて「鹿児島県立短期大学合格発表」で検索してください。



- (3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般選抜学力検査の合格発表日〔令和7年3月6日（木）〕に、本学掲示板に受験番号を掲示するとともに、入学手続書類を郵便で本人に発送する。

10 入 学 手 続

合格者は、入学手続書類が届いた日から、令和7年3月14日（金）16時までに入学手続をしないと入学できない。

11 不 合 格 者 の 取 り 扱 い

社会人選抜に合格しなかった者で、再度一般選抜により本学への入学を希望する者は、あらためて一般選抜個別学力検査を受けるための出願書類を提出しなければならない。

社会人選抜推薦書

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

推薦者 住所
(職場名)

フリ ガナ
氏 名

印

被推薦者との関係 [職場の上司・同僚・知人・家族・本人]

下記の者は、推薦理由のとおり、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の社会人選抜制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

記

1 被推薦者 フリ ガナ
氏 名

住所
(又は職場名)

2 推薦理由

(注) ① 記入には、必ず黒インク又は黒ボールペンを使用してください。

〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)に Word ファイル掲載〉

② 推薦理由については、職場での勤務状況、社会的活動、人物・性格・生活態度、進学理由、学業への熱意などについて、具体的かつ詳細に記入してください。

③ 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

社会人選抜志望理由書

職 業
(勤務先)

フリ ガナ

氏 名

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 殿

私は、下記理由のとおり社会人選抜を志望いたします。

記

○ 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

- (注) ① 記入には必ず黒インク又は黒ボールペンを使用してください。
〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)に Word ファイル掲載〉
- ② 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

